

「中央区公共施設整備方針」策定に向けた検討状況について

☞「中央区公共施設整備方針」について令和8年度中の策定に向けて着手しているところである。
今回、「中央区公共施設整備方針」の概要及び方針の策定に向けて実施した区民アンケート調査の結果について報告する。

1 「中央区公共施設整備方針」の概要

別紙1のとおり

2 区民アンケート調査の結果

項目	実施期間	対象者	概要
区民アンケート調査	令和8年5月15日(金)～6月5日(金)	区内在住の満18歳以上の個人 2,000人	公共施設に関する意識調査 (1) 年齢、家族構成等 (2) 暮らしに関する情報 (3) 公共施設の利用状況 (4) 公共施設に関する印象

区民アンケート調査の結果の概要（速報）は別紙2のとおり

3 今後の予定

令和8年11月 「中央区公共施設整備方針」の中間報告を取りまとめ
令和8年11月 パブリックコメントの実施
～12月
令和9年3月 「中央区公共施設整備方針」の策定

1 方針の概要

(1) 「中央区公共施設整備方針」の目的

本区においては、若い世代や外国人などの転入により、力強いペースで人口が増加しているほか、生活様式の変化、デジタル技術の発展、建築コストの高騰、新たな都市基盤の整備等、本区を取り巻く社会情勢の変化に伴い、行政需要・施設需要は拡大、多様化しています。こうした状況を踏まえ、戦略的かつ効率的な視点で公共施設の整備と活用を行う必要があることから、今後の公共施設のあり方を検討し、「中央区公共施設整備方針」（以下、「公共施設整備方針」という。）を策定します。

(2) 「中央区公共施設整備方針」の位置付け

「中央区公共施設等総合管理方針 2022」（以下、「総合管理方針」という。）は、「20 万都市・中央区を支える安全・安心な公共サービスの継続的な提供とともに、将来にわたる財政負担を軽減・平準化し財政の健全性を高める」という基本目標と、その実現に向けた基本方針を設定し、公共施設等の整備や運営、維持管理、財政負担の軽減・平準化、マネジメント体制の構築に関する取組について示しています。

公共施設整備方針では、上位・関連計画との整合性を図りながら、総合管理方針を補足するものとして、公共施設の目指すべき姿と基本目標、及び基本目標を実現するための戦略を示し、既存施設のソフト・ハード面からの有効活用を図り、公共施設の最適な整備に取り組んでいきます。

なお、公共施設の修繕・改修・更新（改築）等の実行計画を示す「公共施設個別施設計画」については、公共施設整備方針を踏まえ、必要に応じて見直しを実施していきます。



(3) 計画期間

上位計画である総合管理方針の計画期間は、令和 4（2022）年度から令和 33（2051）年度までの 30 年間としています。公共施設整備方針では、個別には定めず、総合管理方針に準じるとともに、今後の社会経済状況や人口動向の変化を踏まえ、必要に応じて適宜見直すものとします。

2 対象施設

公共施設整備方針は、総合管理方針による施設分類を基に、以下の主たる公共施設を対象とします。

分類	施設（サービス）
行政施設	本庁舎、特別出張所、分庁舎、男女平等センター、保健所・保健センター 清掃施設、リサイクル施設
地域・集会施設	区民館、地域集会施設、地域交流センター、葬祭施設、産業支援施設
文化・学習施設	公会堂等、社会教育施設、図書館・学習施設
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設・運動場、保養施設
子育て支援施設	子ども家庭支援センター、児童館、保育所・保育所型認定こども園
高齢者支援施設	敬老館等、地域包括支援センター
高齢者介護等施設	※施設サービス、地域密着型サービス、居宅サービス
障害者福祉施設	※障害福祉サービス（日中活動系サービス、居住系サービス） 障害児福祉サービス（障害児通所支援等） 地域生活支援事業（機能強化事業）
医療施設	医療施設
住宅施設	区民住宅、職員住宅
学校教育施設	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校・中学校、校外施設・教育関連施設
その他施設	まちづくり支援用施設、公衆浴場

※高齢者介護等施設及び障害者福祉施設については、一つの施設で様々なサービスを実施していることから、サービス分類により整理、検討を行います。

3 方針に盛り込む項目

公共施設整備方針は、以下の項目について整理、検討を行います。

項 目
・ 方針の概要 ・ 公共施設を取り巻く環境 ・ 公共施設の目指すべき姿と整備に関する基本目標 ・ 施設分類別の現状と方針 ・ まとめ

区民アンケート調査の結果の概要（速報）

別紙 2

1 区民アンケート調査の概要

調査期間	3週間（令和8年5月15日～6月5日）
対象者	区内在住の満18歳以上の個人 2000人
設問内容	回答者の基礎属性・ライフスタイル、公共施設の利用頻度、利用しない理由、利用率向上のための取組、不足している施設、優先的に整備すべき施設 など
回収率	41%（内訳：郵送回収 45.1% オンライン回収 54.9%）

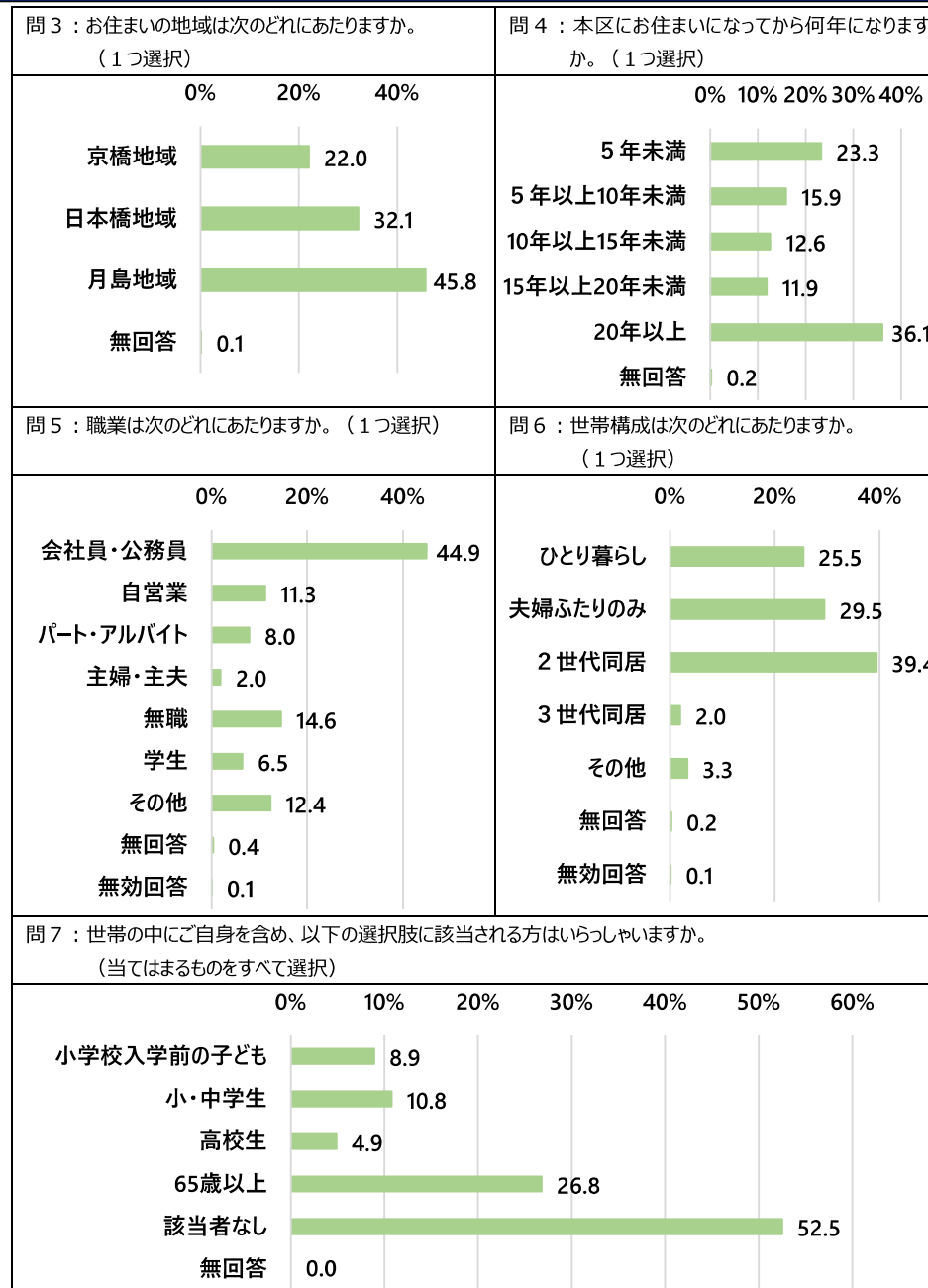
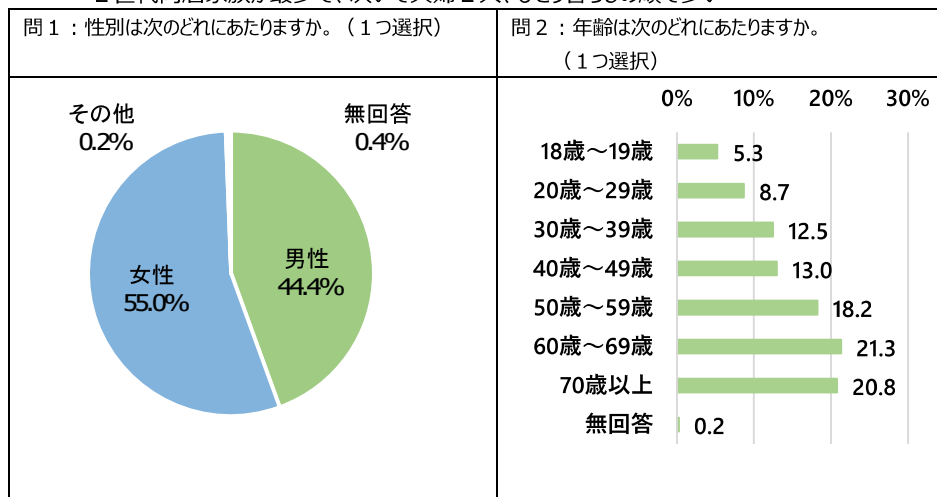
2 回答内容から見た課題（まとめ）

- 社会情勢が変化している中で、それに伴い生じる施設需要（高齢者や子どもに関する施設など）への対応を求めている
- 特定の目的や機能に特化した既存施設の利用頻度や関心は低い一方、区民の価値観やライフスタイルの多様化により、誰もが自由に気軽に、それぞれの目的に応じて利用できる公共施設を求めている
- 行政手続きや施設の予約、混雑状況の把握などについて、デジタル技術を活用した利便性向上を求めている

3 設問と回答内容

（1）年齢、家族構成等（問1～7）

- ・ 本区居住年数が、「20年以上」が最多で、次いで「5年未満」、「5年以上10年未満」の順が多い
- ・ 2世代同居家族が最多で、次いで夫婦2人、ひとり暮らしの順が多い

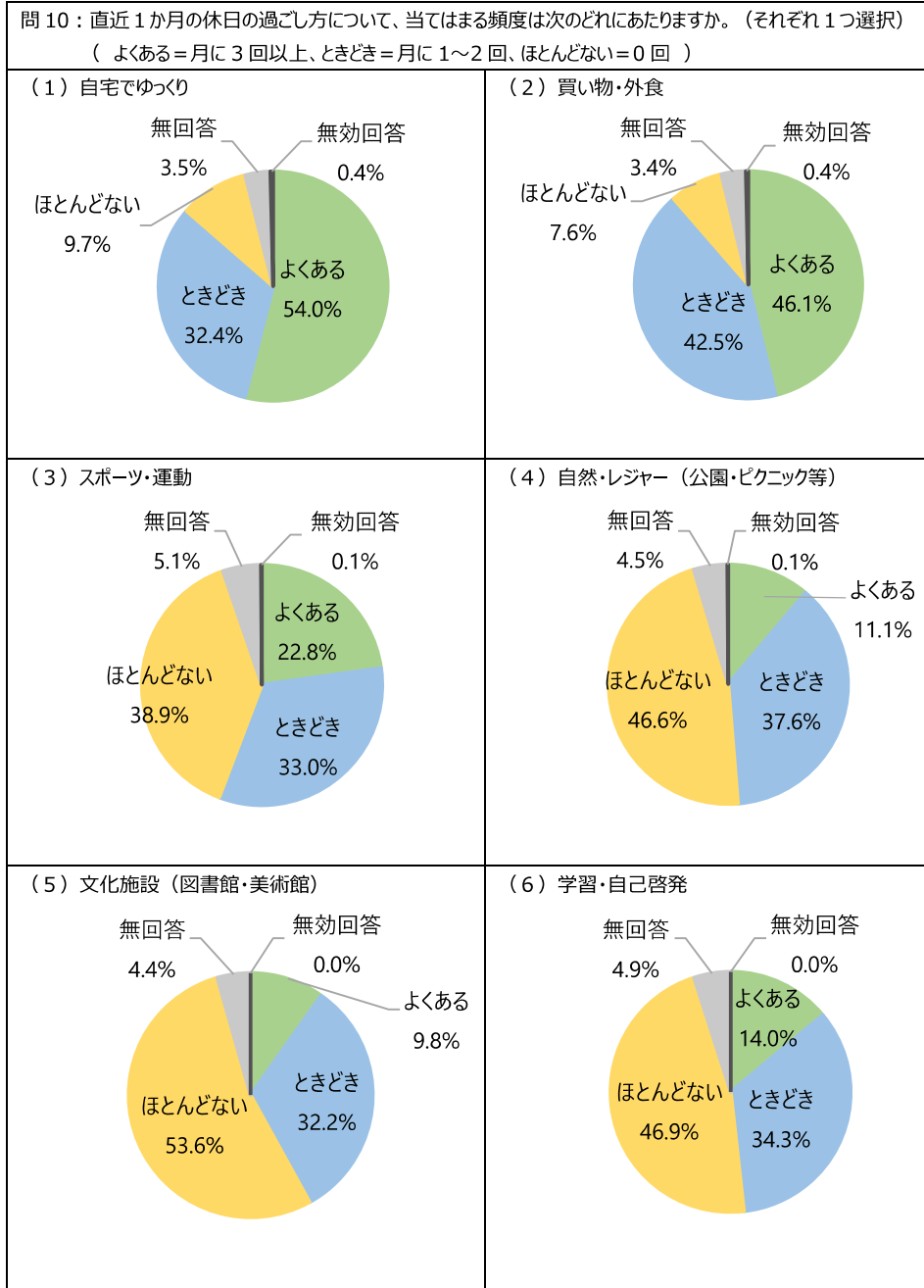
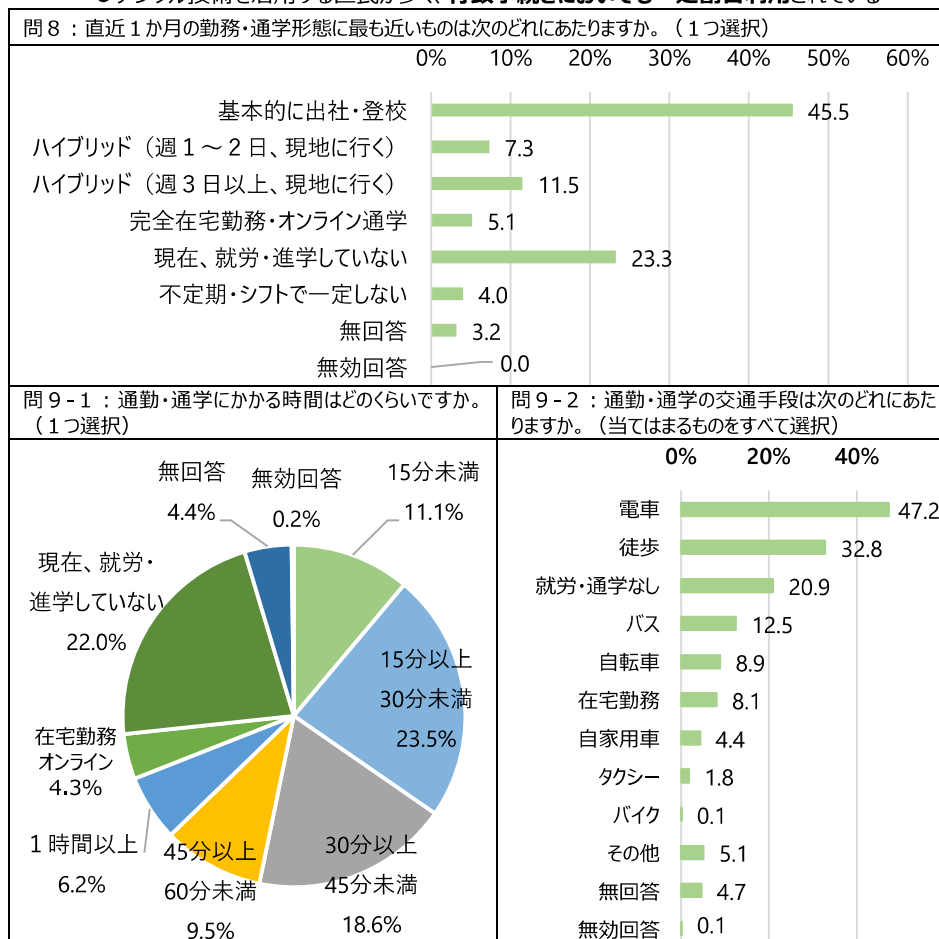


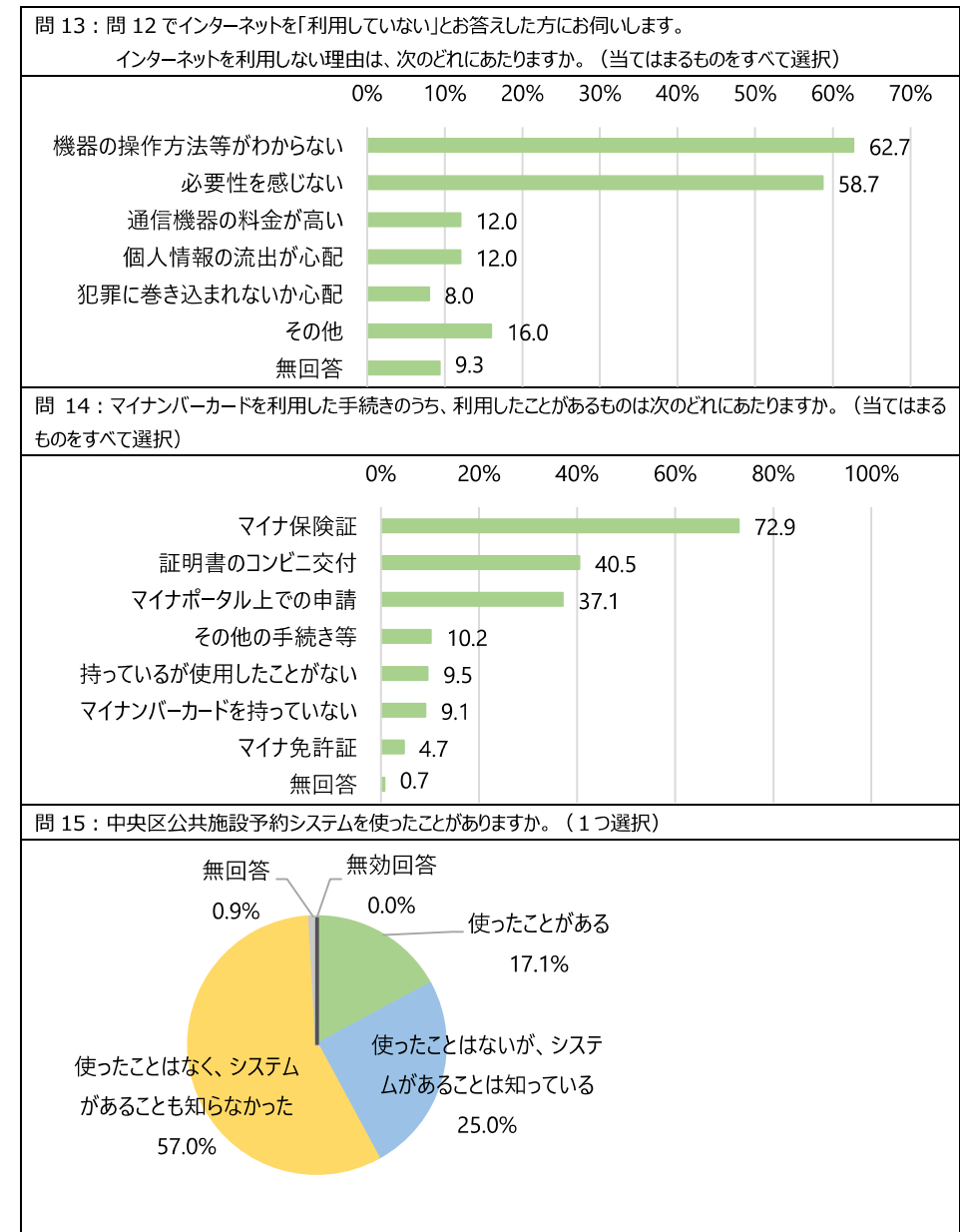
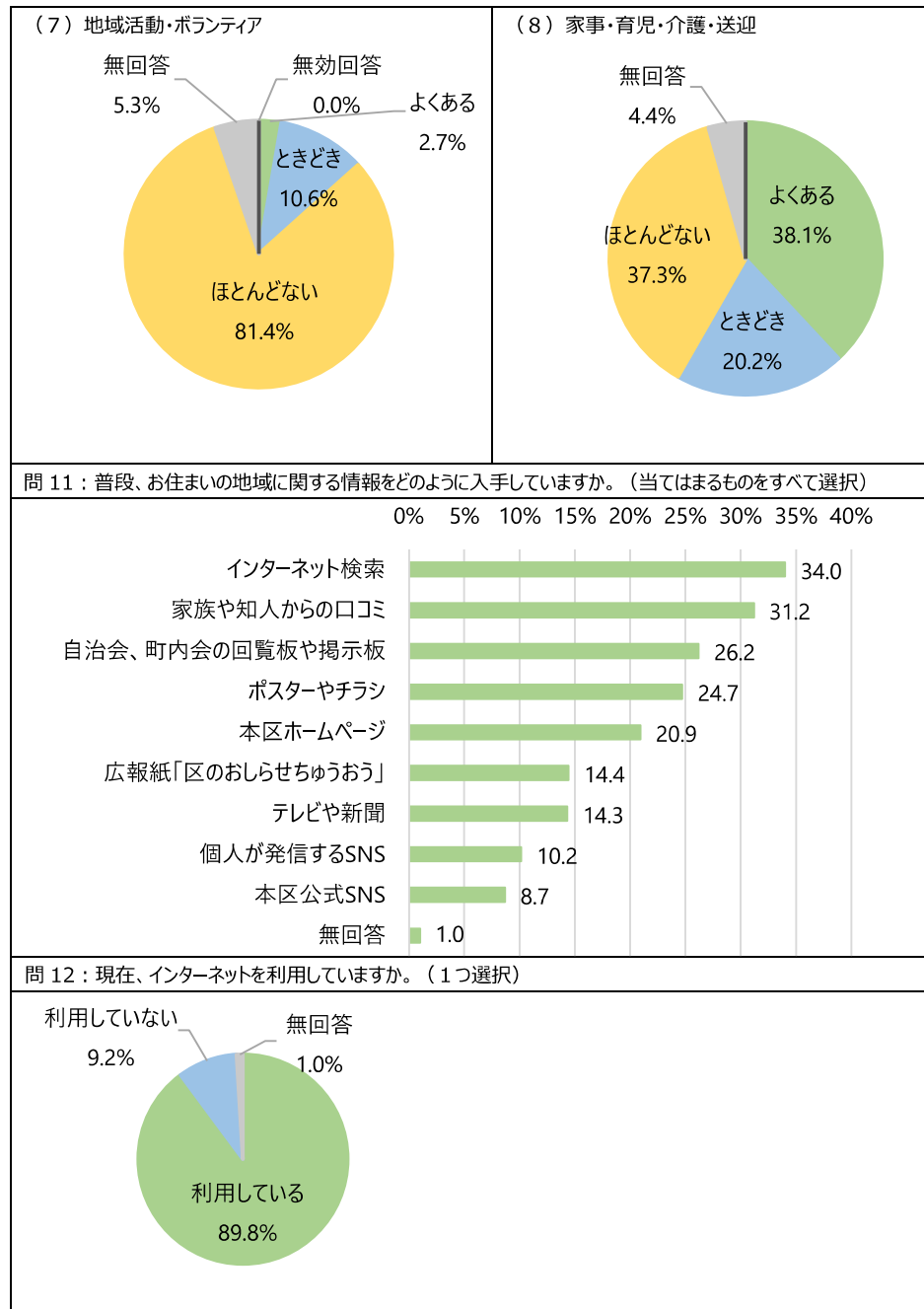
(2) 暮らしに関する情報（問8～15）

- ・「完全在宅勤務」や「ハイブリッド（出社・登校と在宅の組合せ）」の回答割合が 23.9% であり、出社・登校を前提としない働き方等が一定割合見られる
- ・通勤、通学時間 45 分未満が半数以上を占め、職場、学校が比較的近い
- ・よくある休日の過ごし方として「自宅でゆっくり」「買い物・外食」「家事・育児・介護・送迎」の回答割合が、いずれも 40%～50%程度と高い
- ・マイナンバーカードを所持している人が多く、マイナ保険証の利用のほか、証明書のコンビニ交付やマイナポータル上での申請などの行政手続きの利用も一定割合見られる
- ・公共施設予約システムについて、利用していない区民が多く、「知らなかった」も半数以上存在する

【考察】●**主な生活圏が区内や近接地**である区民が多い

●**デジタル技術を活用する区民が多く、行政手続きにおいても一定割合利用**されている



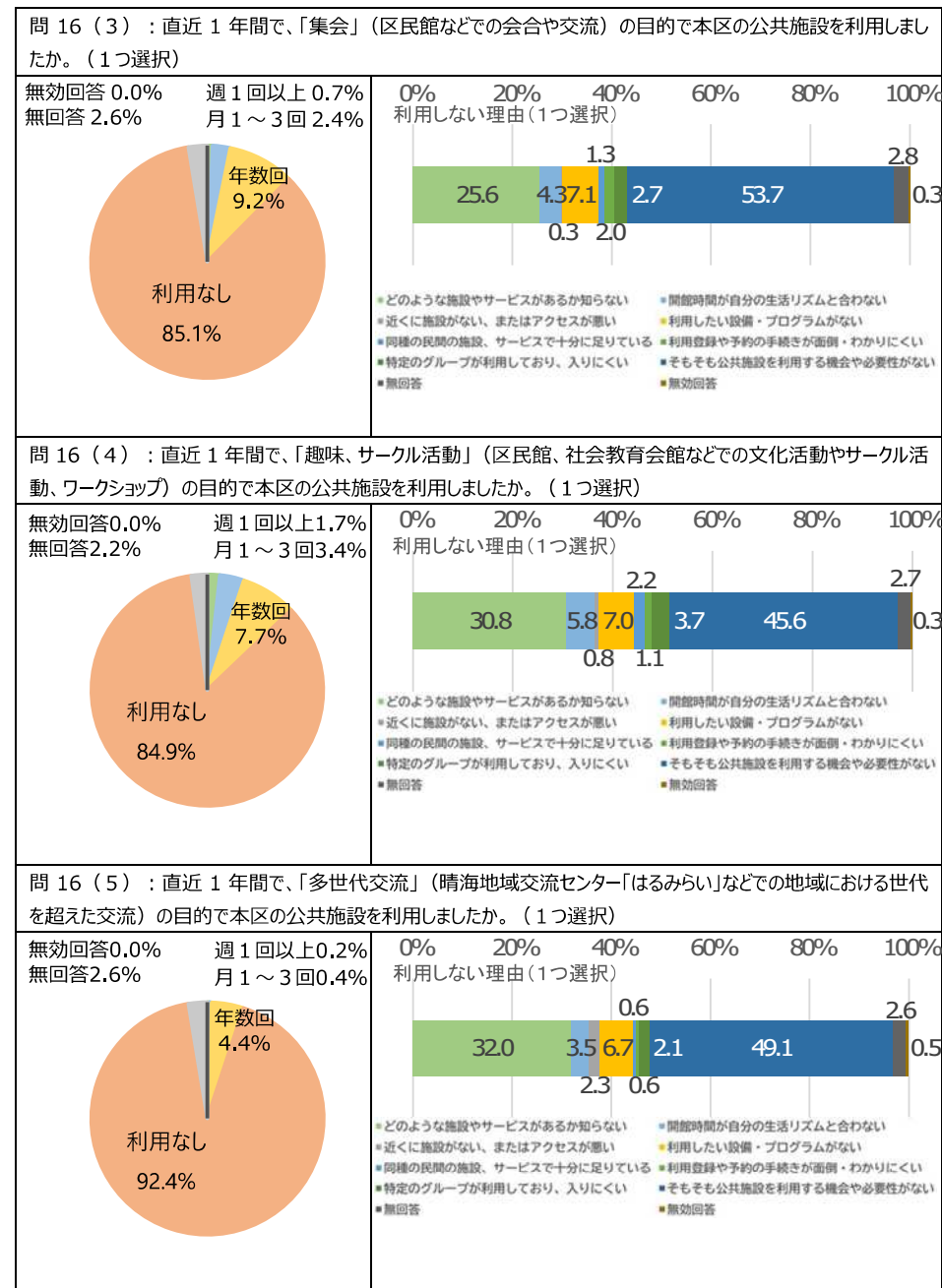
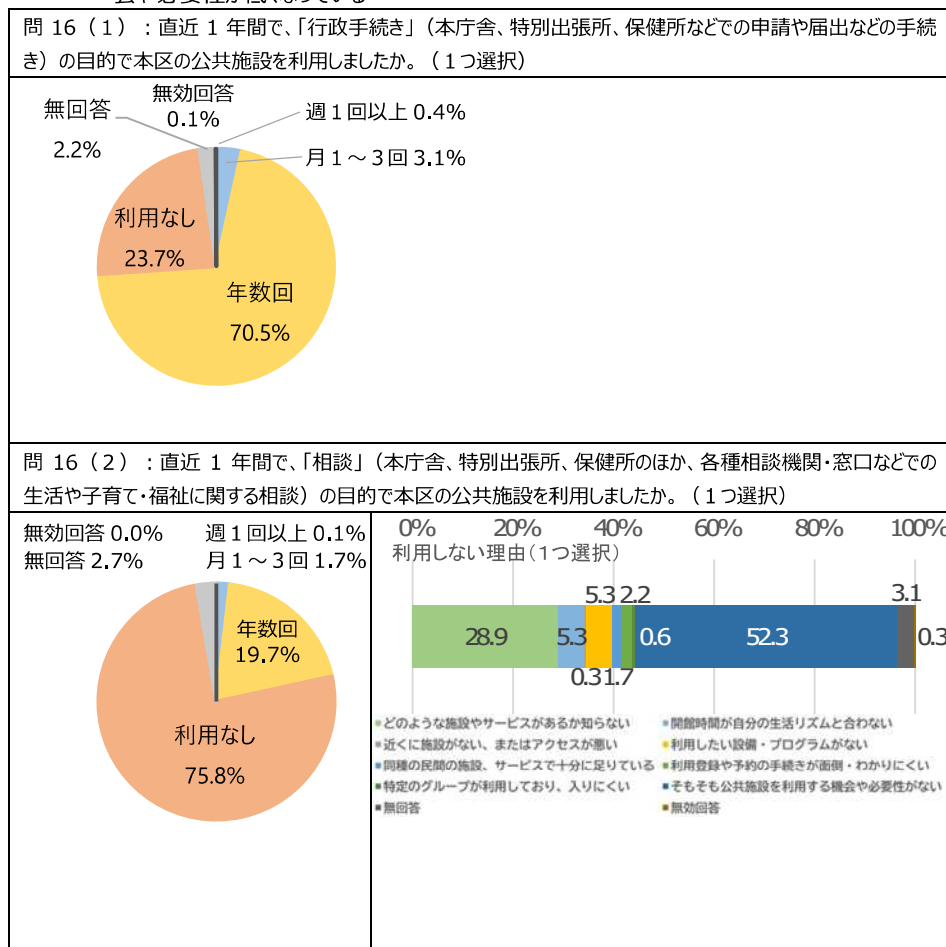


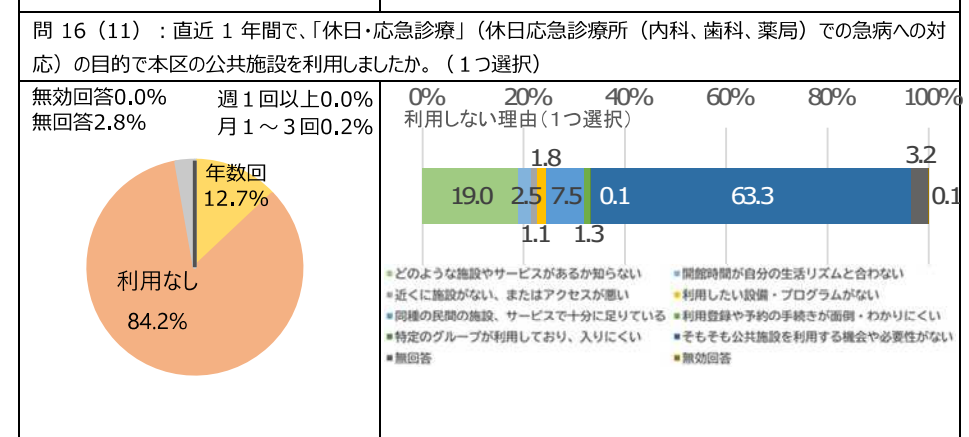
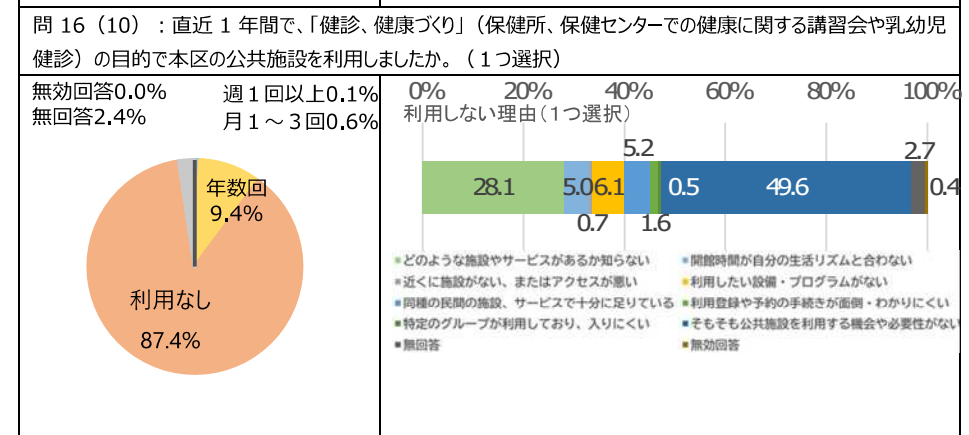
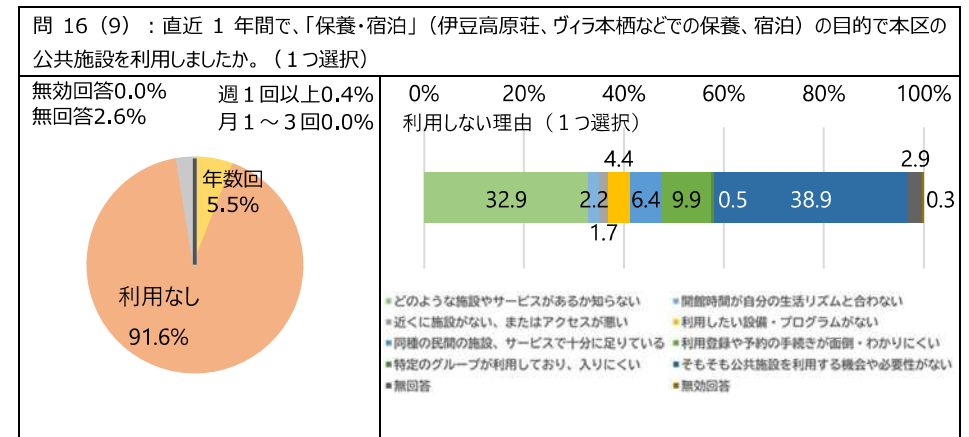
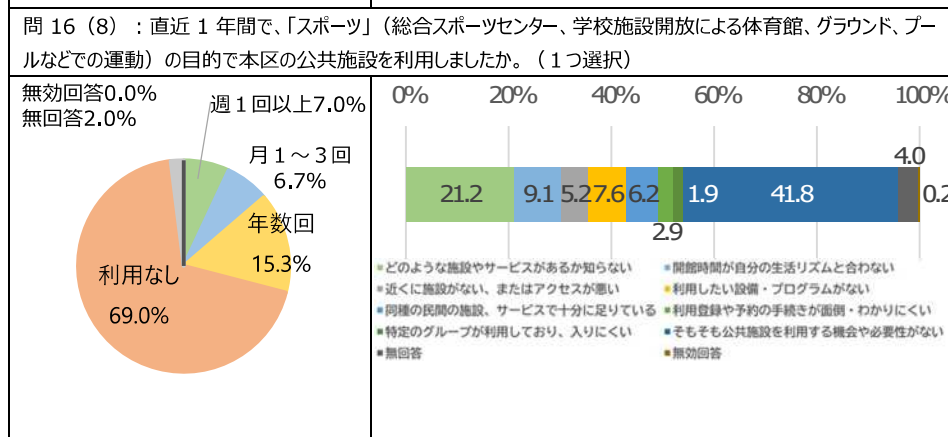
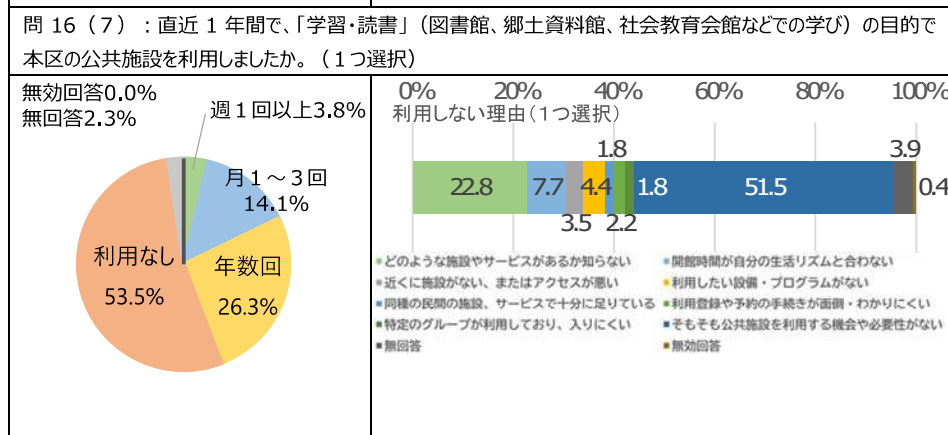
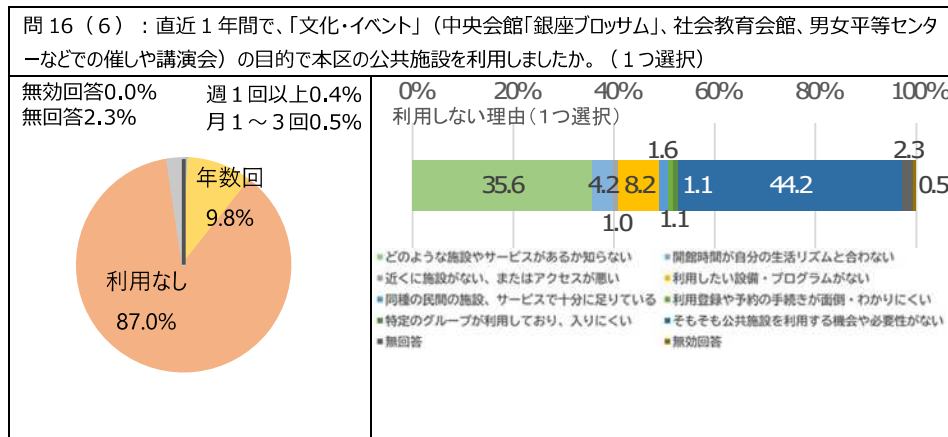
(3) 公共施設の利用状況（問 16）

- ・ 年数回以上利用している割合は、「行政手続き」が最多で、次いで「学習・読書」、「スポーツ」が多い
- ・ 「行政手続き」以外の目的では、いずれも「利用なし」が半数以上となっている
- ・ 利用しない理由について、全ての施設において「そもそも公共施設を利用する機会や必要がない」が最多となっている
- ・ 「休日・応急診療」を除いた施設では、「どのような施設やサービスがあるか知らない」が一定割合見られる

【考察】●図書館やスポーツ施設など、誰もが自由に気軽に利用できる施設の利用は一定割合存在する

●区民の価値観やライフスタイルと公共施設の設置目的が合わないことから施設利用の機会や必要性が低くなっている





(4) 公共施設に関する印象 (問 17～20)

- 公共施設の利用促進の取組みに関する意見として、「デジタル化」に関する回答割合が最多で、次いで「時間の柔軟化」、「空間の改善」、「情報の充実」に関する意見が多い
- 公共施設が個々のニーズにあっていないかの問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が4割弱だが、公共施設が有効活用されているかの問に対しては、半数以上の回答割合で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と感じている
- 現状、不足していると感じている施設は、「特になし」が最多で、次いで「スポーツ」、「高齢者の介護」に関する回答割合が多い
- 今後、特に優先的に整備・維持すべきと感じている施設は、「行政手続き」、「スポーツ」、「高齢者の介護」に関する回答割合が多い

【考察】●多くの区民は、デジタル化の推進による**行政手続きの利便性向上と自身の日常生活（時間）にマッチした行政サービス**を求めている

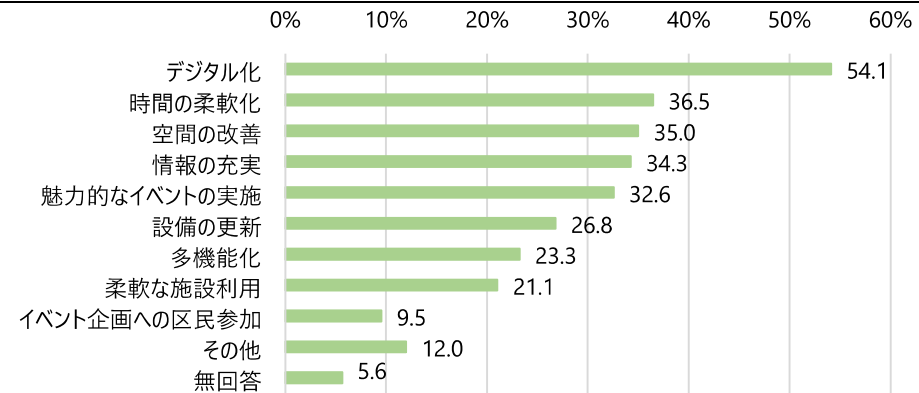
●「空間の改善（オープンスペースや気軽に休憩）」など**気軽に自由に利用できる施設**を求めている

●「スポーツ」に関する施設は、現在、及び**今後の社会情勢が変化する状況においても整備が必要**と捉えている

●**今後の社会情勢の変化により「相談」、「子育て、教育」、「子どもの居場所」、「高齢者の介護」、「高齢者の活動支援」に関する施設などが必要**と捉えている

問 17：公共施設を「もっと利用したい」と感じていただくため、どのような取組が重要だと思いますか。

(当てはまるものをすべて選択)



デジタル化：スマホで施設の空きや混雑状況の確認、予約・決済が簡単にできるようになる

時間の柔軟化：仕事や学校の帰りで立ち寄れるよう、早朝・夜間や、休日の開館時間が拡大される

空間の改善：Wi-Fi 完備のオープンスペースや、気軽に休憩などをして過ごせる場所がある

情報の充実：自分の興味や年代に合ったイベント・施設情報が SNS 等で届くようになる

魅力的なイベントの実施：民間のノウハウなどを活かした講座や教室が開催される

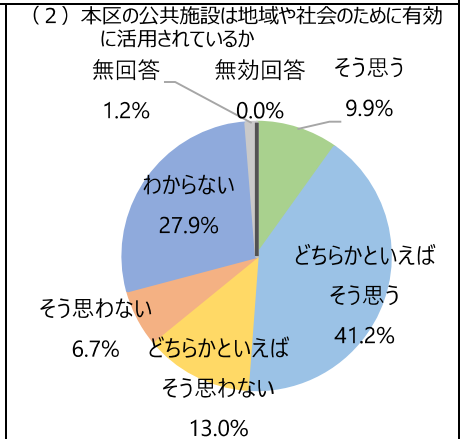
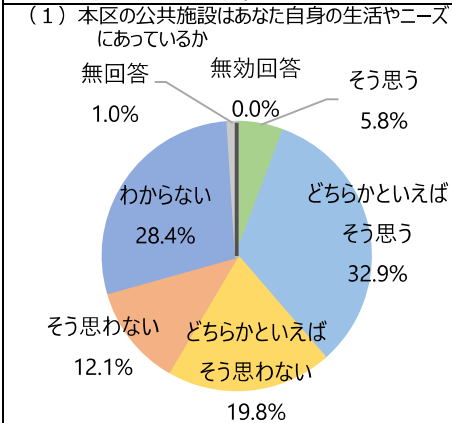
設備の更新：建物がリニューアルされ、清潔で明るい空間や、使いやすい設備が整う

多機能化：一つの場所で「手続き」のほか、様々な活動や体験ができる

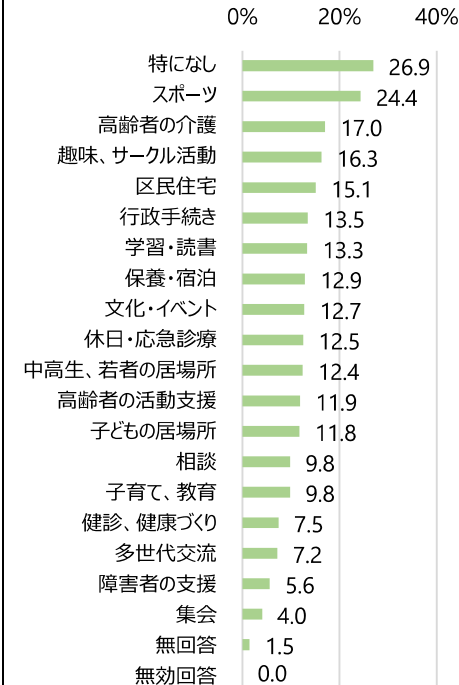
柔軟な施設利用：誰でも自由に様々な目的で施設が利用できるようにするなど利用ルールを見直す

イベント企画への区民参加：区民自らイベントを企画・運営できる仕組みやサポートがある

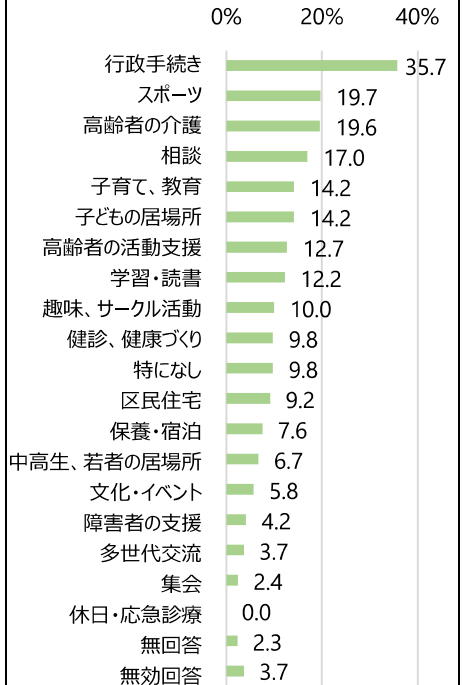
問 18：本区の公共施設全般について、あなたの現在の印象に最も近いものをそれぞれお選びください。
(それぞれ1つ選択)



問 19：現在、本区において不足している（拡充が必要）と思う分野（施設）は次のどれに当たりますか。（当てはまるものをすべて選択）



問 20：人口の増加やライフスタイルの多様化、デジタル技術の進展など社会情勢が大きく変化している状況を踏まえ、今後、特に優先的に整備・維持すべきと思う分野（施設）は次のどれに当たりますか。（上位3つまで選択）



若者世代の意見を把握するため、若葉会（少年リーダー養成研修会OBOG会）との意見交換会を開催した

意見聴取の概要

開催日	令和8（2026）年5月29日
参加者	人数：8名 年齢：18～29歳
テーマ	① 小中高生の頃（過去の自分）を振り返って、学校が終わった後や休日に、中央区の施設をどのように利用していましたか？ 【よく利用していた方へ】 ・ 当時、よく利用していた施設はどこですか？ そこで何をしていましたか？ ・ 「もっとこうだったら良かったのに」と思っていたことはありましたか？ 【あまり利用していなかった方へ】 ・ なぜ、中央区の施設を使わなかったのでしょうか？ ・ 「こんな設備やサービスがあったら、あの時の自分は施設を利用していたなあ」と思うことは何ですか？ ② 若者世代となった今の自分にとって、大学生や社会人となり、中央区の公共施設についてどう感じていますか？ ・ 「中央区にこんな場所や施設があれば利用したいなあ」と思いますか？ ・ 「中央区の施設」に行きたくするには、どんな工夫が必要だと思いませんか？

中央区の公共施設について

- ・ 中央区には、185棟、316施設、約64万㎡（東京ドーム約14個分）もの公共施設があります。
（令和8(2026)年4月1日 現在）
- ・ 学校や図書館以外にも、会議ができる集会施設や介護が必要な高齢者が入所する施設など、用途に応じて様々な施設があります。

皆さんは、どのように中央区の公共施設を利用してきましたか？



これからの中央区の公共施設について ～「もっとこうだったらいいのに！」をお聞かせください～

中央区の公共施設の今後のあり方を考えていくために、皆さんのこれまでの経験や今感じていることを教えてください。中央区で生活している皆さんの「一人のユーザー」としての率直な感想をお待ちしています。

- 01 小中高生の頃（過去の自分）を振り返って**
学校が終わった後や休日に、中央区の施設（例えば、図書館、区民館、児童館など）をどのように利用していましたか？
- よく利用していた方へ**
- ・ 当時、よく利用していた施設はどこですか？ そこで何をしていましたか？
（例：図書館で試験勉強、児童館で友達と遊んだ など）
 - ・ 「もっとこうだったら良かったのに」と思っていたことはありましたか？
- あまり利用していなかった方へ**
- ・ なぜ、中央区の施設を使わなかったのでしょうか？（例：入りにくい、カフェやカラオケの方がいい など）
 - ・ 「こんな設備やサービスがあったら、あの時の自分は施設を利用していたなあ」と思うことは何ですか？
- 02 若者世代となった今の自分にとって**
大学生や社会人となり、中央区の公共施設についてどう感じていますか？
- ・ 平日や休日の過ごし方の中で、「中央区にこんな場所や施設があれば利用したいなあ」と思いますか？
（例：●●ができるスペースや施設がほしい など）
 - ・ 日々の生活の中で、あえて「中央区の施設」に行きたくするには、どんな工夫が必要だと思いますか？
（例：●●施設に●●を設置してほしい、●●教室を開催してほしい、手続きを簡単にしてほしい など）

参加者は小さいころ、スポーツ施設、図書館、児童館、社会教育施設等を使っていた
 当時を振り返ると、「予約」が子どもによる利用の障壁となっていたことが指摘された

意見交換①（これまでを振り返って）

これまで、公共施設を どのように利用していたのか	社会教育施設	和太鼓の練習で音楽室を使っていた
	図書館	- 親の帰りを待つために本を読んでいた - 移転前の京橋図書館に友達と行っていた
	スポーツ施設	- スポーツセンターで剣道を習ったり、放課後に友達と遊んでいた - 親と月島スポーツプラザのプールを使っていた
	児童館	- 友達との待ち合わせに使っていた - 小学校の6年間、毎日、築地児童館に行っていた。中学生になってからは、夜8時まで使える新川児童館に行っていた
	高齢者介護等施設	晴海中学校在学時に、マイホームはるみで高齢者と交流していた
「こういう施設だったら、 もっと使えたのに」 と思うところ	スポーツ施設	月島グラウンドは予約が必要だったので、小中学生だけでは使えなかった
	児童館	当時は携帯電話の持ち込みが禁止されていたが、緊急用に認めてほしかった
	全般	予約の仕方が分からなかったため、使えなかった施設がある

はるみらいの評価が高い一方で、図書館の混雑時には座席の確保が困難なことがある、気軽にスポーツできる施設が欲しい、公共施設は20代の若者が行く場所ではないイメージがある等の課題や要望が指摘された

意見交換②（現在の公共施設とのかかわり方）

最近の公共施設との 関わり方	地域交流センター	・ はるみらいで勉強している ・ はるみらいには不満がない。勉強用のスペースと子連れ向けのスペースが分かれていて、それぞれのニーズで利用できるところが良い。他の施設にもそのようなスペースが欲しい
	社会教育施設	・ 月島社会教育会館晴海分館のプールで泳いでいる ・ 若葉会の活動で使用している
	図書館	・ 本の森ちゅうおうで勉強したいが、座れないのでカフェに行っている。「どうせ座れないから行かない」となっている
	スポーツ施設	・ スポーツセンターのトレーニング室を使っている
「こんな施設・設備があったら いいのに」 と思うところ	スポーツ施設	・ スポーツセンターのゴルフ練習場で、軌道がわかるような設備があるとよい ・ 大学生や大人がボールを使える場所・時間帯があるとよい ・ 城東小学校のように、雨の日でも遊べる、屋内でボールが使える施設があるとよい
	全般	・ 気軽に遊べる施設が少ない。楽しく自由に遊べる公園があるとよい ・ ちょっと気軽に外出して作業できるような場所があるとよい
その他の意見		・ 中央区の施設は小中高生や高齢者を対象としているイメージで、20代が居る場所ではないというイメージがある。